

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
化学	2 (4単位を 分割履修)	2年・普通科(理系) プログレッシブ	選択C2	改訂 化学 (東京書籍)	セミナー化学 (第一学習社)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・気体、液体、固体の性質を探究し、物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質について理解するとともに、日常生活や社会と関連づけて理解する。 ・化学変化に伴うエネルギーの出入り、反応速度および化学平衡を探究し、化学反応に関する概念や法則を理解する。
主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次に学習した化学基礎の発展的内容を学ぶ。「物質の状態と平衡」、「化学反応とエネルギー」、「化学反応の速さと平衡」を中心として、理論的な内容を学習する。 ・残りの内容については、3年次の化学で学習する。
評価の 観点・規準	<p>A「関心・意欲・態度」身の回りの化学に関する現象に関心を持ち、意欲的に探究しようとする態度があり、また、科学的な見方や考え方を身につけているかどうかの観点から評価する。</p> <p>B「思考・判断・表現」化学に関する現象の中に問題を見出し、科学的に考察し導き出した考えを的確に表現できるかどうかの観点から評価する。</p> <p>C「観察・実験の技能」観察・実験を通して、基本操作を習得するとともに、結果を記録・整理し、自然を科学的に探究する技能を身につけているかどうかの観点から評価する。</p> <p>D「知識・理解」化学に関する基本的な原理・法則を理解し知識を身につけているかどうかの観点から評価する。</p>
評価の方法	<p>A 授業への取り組みやレポート等の内容で判断、評価する。</p> <p>B レポートの内容や定期考査で判断、評価する。</p> <p>C 実験中の器具等の操作や結果、およびレポートの内容で判断・評価する。</p> <p>D レポートの内容、定期考査、小テスト等で判断・評価する。</p> <p>以上、A～Dの観点で総合的に評価する。</p>

学期	内容
1 学期	第1編 1章 物質の状態 2章 気体の性質 物質の三態やその状態変化、すべての気体に共通するいくつかの法則について学習する。 中間考査
	第1編 3章 溶液の性質 溶液のさまざまな性質、固体中の粒子の配列について学習する。 期末考査
2 学期	第1編 4章 固体の構造 第2編 1章 化学反応と熱・光 固体中の粒子、化学変化に伴うエネルギーの出入りについて学習する。 中間考査
	第2編 2章 電池と電気分解 第3編 1章 化学反応の速さ 電気エネルギーと化学エネルギーの関係、反応の速さを決める要因について学習する。 期末考査
3 学期	第3編 2章 化学平衡 3章 水溶液中の化学平衡 化学平衡における各物質の量的関係および化学平衡の移動について学習する。 学年末考査

備考 ・ 講座の特色 ・ 履修条件 ・ 注意事項 等	<ul style="list-style-type: none"> ●スタンダードクラスは選択できない。
--	--